

くるみん認定企業インタビュー

Vol. 1 株式会社 I C C データプラス



石川労働局職員がくるみん認定企業の**株式会社 I C C データプラス**を訪問し、社員の育児休業等について、寺西昌治社長、山田和美総務部長、実際に育児休業を取得した2人の社員にお話を伺いました。
(訪問日：2023年10月18日)



(写真左から)

田名網洋子雇用環境・均等室長、山田和美総務部長
寺西昌治社長、飯山浩史総務部長（石川労働局）

「くるみん認定」は次世代育成支援に取り組み、一定の要件を満たした事業主を厚生労働大臣が「子育てサポート企業」として認定する制度です。

訪問企業概要

株式会社 I C C データプラス

<https://www.idtp.jp/>

所在地	金沢市無量寺2丁目46番地
設立	1991年10月1日
従業員数	90名
代表取締役	寺西 昌治
業種	情報処理サービス業 データ入力や紙・マイクロフィルムの電子化等 事務業務代行も行っています。
経営理念	事業継続は人財にあり、企業風土にある



石川県内のくるみん認定企業や認定基準の詳細は
石川労働局ホームページをご覧ください

https://jsite.mhlw.go.jp/ishikawaroudoukyoku/news_topics/publicpaper/koyou_service_00001.html



次世代育成支援に取り組むきっかけは？

きっかけは関連企業である株式会社石川コンピュータ・センターが男性の育児休業促進に取り組んだことでした。

男女問わず育児休業を取得できることを会議で社員に周知することにより、社員の育児休業に関する意識を高めました。

令和4年4月に弊社で初めて男性社員が育児休業を取得し、今回のくるみんな認定につながりました。

より高い水準の「プラチナくるみんな認定」取得を目指した取組も進めています。



寺西 昌治
代表取締役社長

認定を取得して良かったことは？



山田 和美
総務部 部長

認定を取得することで企業のイメージアップにつながっていると思います。

名刺にくるみんなを表示することにより、名刺交換の際の話題作りにもなりますし、しっかりとした会社であるという印象をもたれやすくなったと思います。

昨今、働きやすさを求めている方が増えているので、アピールする材料になっています。

●働きやすい職場です●

株式会社ICCデータプラスは採用活動の際に認定企業であることを大きくアピールされています。

また、女性の活躍に関する取組が優良な企業が取得できる「えるぼし認定」（左側）も取得されています。（石川労働局）



企業インタビュー

認定に取り組もうと考えている企業へのメッセージ

少子高齢化が進み、子を持たない方も増えていますが、子育て支援は企業の義務だと考えています。

社員が育児休業を取得するにあたり、個人に依存している仕事があると休業を取得しにくくなってしまいます。

実務的に難しい場合もありますが、どの仕事であっても複数の人ができるよう取り組むことが育児休業を取得しやすい職場、働きやすい職場作りにつながるのではないのでしょうか。



育児休業を取得した方へのインタビュー



株式会社 I C C データプラスで働きながら、実際に育児休業を取得したシステム課沼田利宣課長と業務1課細畑万里江さんに、育児休業や仕事と育児の両立についてお話を伺いました。

システム課課長 沼田さん システムの受託開発やデータエントリー、部下の育成・管理等を担当
業務1課 細畑さん 社内の事務や各種媒体の電子化業務等を担当



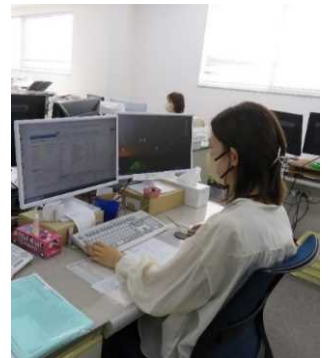
雇用環境・均等室 橋本裕太郎
(くるみん認定担当。カメラマン兼インタビューアー)

仕事と育児の両立について工夫していること

沼田さん：自分の想像以上に子供優先の生活になり、自分の時間を確保することが難しくなりました。育児休業からの復帰後も、家族のために早めの帰宅を心掛けるようになりました。仕事は優先順位を決めて進めています。家庭では夫婦どちらかに負担が偏らないように心がけています。

細畑さん：育児休業前はフルタイムでの勤務でしたが、職場復帰後は育児短時間勤務をしています。子供のお迎えがあるので仕事を効率的に行うよう心掛けています。

また、自分と子供の体調には特に気を付けていますが、急に休まなくてはならない時に備え、日頃から同僚への報告や引継をしっかりと行うようになりました。急なお休みなどの際にも、理解がある職場の皆さんに支えていただき、助かっています。



育児休業を取得した方へのインタビュー

男性の育児休業取得にあたってベストだと思う取得時期や取得期間は？

沼田さん：取得の時期については家庭の事情や仕事とのバランスにもよると思います。2週間では短かったと感じていますが、管理職ということもあり、この時はこれがベストだと思っています。

細畑さん：出産直後は体力の回復期なので、1か月取得してくれると女性は助かると思います。（育児休業期間については色々な考えがありますが）取得期間が長すぎてもちょっと・・・と思う女性もいるかもしれません（笑）私個人としては、夫が毎日仕事から早く帰宅してくれると嬉しいです。

男性の育児休業取得を増やすためには何が必要だと思いますか？

沼田さん：育児休業給付の給付率の引き上げが必要だと思います。どうしてもお金がかかる時期なので、経済的な面で躊躇しがちなところはあると思います。

細畑さん：育児休業給付があるとはいえ、収入が減ってしまうので育児休業中は経済的には厳しかったです。また、職場の方の育児に協力的な気持ちがとても助かりました。

男性へのメッセージ

沼田さん：私は、初めから育児休業をとりたいと考えていました。取得を迷っている方も育児休業を是非取得していただいて、子供と過ごす時間を増やして欲しいです。

細畑さん：子が1歳になるまではあっという間です。貴重な時期なので是非育児休業を取得してください。



株式会社ICCデータプラスの皆さん
受付に認定通知書を掲示しています。

編集後記

「子育て支援は企業の義務」とおっしゃるトップのもと、皆さんが働きやすい環境の整備に取り組まれていました。また、社員の方のリアルな体験談やご要望を伺い、男性も女性も育児休業や育児との両立をしやすい職場環境づくりとともに育児休業中のさらなる経済的な支援が求められていることを感じました。

個人としても、将来子供に恵まれることがあれば必ず育児休業を取得したいと思いました（くるみん認定担当 橋本）。

